

令和5年度 自己評価報告書

令和6年3月16日
学校法人 山縣学園 北山幼稚園

1, 本園の教育目標

モンテッソーリ教育法に基づき、幼児のありのままの姿を認め、受け入れ、個々の発達段階に応じた適切な指導を通して、豊かな個性と確かな判断力を兼ね備えた、個性あふれる実家区を育む教育に取り組む。

- ◆いかなる環境にも適応できる柔軟さと逞しさを培う。
- ◆成長する喜びを実感する。
- ◆友を思う優しさを身につける。

2, 本年度重点的に取り組む目標・計画

本園の教育目標を踏まえ、園児がより豊かな経験を通し未来に羽ばたくための、質の高い教育の実践を目指す。

3, 評価項目の達成及び取り組み状況

【評価項目1】「教育目標の理解を深め改善を図る」

<取り組み状況>・・・教職員が定期的に、幼児の日々の様子を共有し、更に一人一人の園児に寄り添う配慮や方法についての見直しを行った。

※評価方法 「A」…十分に成果があった

「B」…成果があった

「C」…少し成果があった

「D」…成果がなかった

<評価>・・・B

【評価項目2】「リトミック教育を通して、豊かな感性を育む」

<取り組み状況>・・・年少中心に実施したリトミック指導に、新しい楽器やプログラム等を用い、より豊かな感性が育まれる工夫した内容を行った。

※評価方法 「A」…十分に成果があった

「B」…成果があった

「C」…少し成果があった

「D」…成果がなかった

<評価>・・・A

【評価項目3】「さんすうの楽しさを伝え小学生への期待を膨らませる」

<取り組み状況>…10までの合成分解から時計の読み方・かけ算の指導を行い、学びの楽しさを体験すると共に、今後の学習を楽しみにするプログラムを実施。

※評価方法 「A」…十分に成果があった

「B」…成果があった

「C」…少し成果があった

「D」…成果がなかった

<評価>…A

4, 総合的な評価結果

<評価>…B

3つの評価項目に取り組んだ結果、より豊かな経験をすることができ、一人一人の意欲の向上や、お友達と過ごすことの楽しさや学びへの興味を深めることができた。

5, 今後取り組む課題

【課題1】「第3園舎や本園舎1階保育室前に日よけシートを設置し、夏でも熱中症の心配を軽減させ、安心して園内で過ごせる環境作りに取り組む。」

【課題2】「緊急事態や事故に備え、園児と保護者が安心できる内容を、教職員で共有研修し充実改善を図る。」

【課題3】「体験を通して培える学びの基礎を、幼児期に効果的に指導できるよう、職員内での研修や学びあいの充実を図る。」

令和5年度 学校関係者評価報告書

令和6年5月1日
学校法人 山縣学園 北山幼稚園

【評価方法】

「A」…十分に成果があった

「B」…成果があった

「C」…少し成果があった

「D」…成果がなかった

1, 本園の教育目標

モンテッソーリ教育法に基づき、幼児のありのままの姿を認め、受け入れ、個々の発達段階に応じた適切な指導を通して、豊かな個性と確かな判断力を兼ね備えた、個性あふれる実家区を育む教育に取り組む。

- ◆いかなる環境にも適応できる柔軟さと逞しさを培う。
- ◆成長する喜びを実感する。
- ◆友を思う優しさを身につける。

<学校関係者評価>…A

〇どの先生方からも、子どもと関わるのが大好きという子どもたちへの愛情を感じます。それが子どもたちの「やってみたい」「やってみよう」に繋がっているのだと思いました。

2, 本年度重点的に取り組む目標・計画

本園の教育目標を踏まえ、園児がより豊かな経験を通し未来に羽ばたくための、質の高い教育の実践を目指す。

<学校関係者評価>…B

〇展示会、学習発表会、運動会等において、作品・演目等のボリュームが大き過ぎるのではないかと思います。子どもも先生も大変ではないでしょうか。ボリュームを抑えて、1つの作品、演目に一生懸命取り組むほうが双方にとって良い影響がある気がします。正課授業も同様に子どもと先生の負担になり過ぎないカリキュラムの再検討もお願いしたいです。

3, 評価項目の達成及び取り組み状況

【評価項目1】「教育目標の理解を深め改善を図る」

<取り組み状況>…教職員が定期的に、幼児の日々の様子を共有し、更に一人一人の園児に寄り添う配慮や方法についての見直しを行った。

<学校関係者評価>…A

〇子どもの「今」を一番に考えてくださる優しい先生方が作ってくださる空間は、子どもたちにとっても過ごしやすく、安心する場所で学びも深まるのだと思いました。

〇雪の日の素早い判断や、段取りの良さにとてもありがたく思っております。

【評価項目2】「リトミック教育を通して、豊かな感性を育む」

<取り組み状況>・・・年少中心に実施したリトミック指導に、新しい楽器やプログラム等を用い、より豊かな感性が育まれる工夫した内容を行った。

<学校関係者評価>・・・A

○行事のレベルや完成度がとても高く、親子共に貴重な経験をさせてもらっています。良き伝統が受け継がれ、また時代に合わせて変化も柔軟です。

【評価項目3】「さんすうの楽しさを伝え小学生への期待を膨らませる」

<取り組み状況>・・・10までの合成分解から時計の読み方・かけ算の指導を行い、学びの楽しさを体験すると共に、今後の学習を楽しみにするプログラムを実施。

<学校関係者評価>・・・A

○年長でのかけ算導入は、単なる暗記として九九を覚えることだけではなく、新しい学びが楽しい幼児期に触れることに意義があったと感じます。自宅での会話でも掛け算の考え方を教える機会も増え、「さんすうの楽しさを伝え小学生への期待を膨らませる」は達成できたと思われます。

4, 総合的な評価結果

3つの評価項目に取り組んだ結果、より豊かな体験をすることができ、一人一人の意欲の向上や、お友達と過ごすことの楽しさや学びへの興味を深めることができた。

<学校関係者評価>・・・A

○北山幼稚園の豊富なプログラムと、子供の成長に親の方が驚かされている毎日です。

○色んな課外があり、子供たちが色んな体験をしている所はとても良いと思う。発表会や運動会、作品展の力はかなり入っていると感じる。

5, 今後取り組む課題

【課題1】「第3園舎や本園舎1階保育室前に日よけシートを設置し、夏でも熱中症の心配を軽減させ、安心して園内で過ごせる環境作りに取り組む。」

【課題2】「緊急事態や事故に備え、園児と保護者が安心できる内容を、教職員で共有研修し充実改善を図る。」

【課題3】「体験を通して培える学びの基礎を、幼児期に効果的に指導できるよう、職員内での研修や学びあいの充実を図る。」

<学校関係者評価>・・・B

○今後の課題の具体的な案も見せていただき、安心感も増しました。

○携帯アプリ「コドモン」導入にて、問合せやアンケートなど保護者と園との連携は向上したと思います。